

金沢大学法学類月報

第18号 2015年4月25日発行

編集・発行：金沢大学法学類広報委員会
協力：金沢法友会法学類広報プロジェクト



176人の新入生(1年生172人、編入学4人)を迎えて、法学類の新年度がスタートしました。新年度最初の法学類月報18号では、永井善之先生のご紹介、就職活動体験記、法科大学院を志望する法学類生への支援制度新設のお知らせをお届けします。



◆連載◆ 法学類の先生 第16回 永井善之先生(刑法)

西宮で生まれ、大分、松江、岡山、仙台、八尾、そして金沢の各市で暮らしてきました。出張などでこれらへの再訪機会を得るたびに、郊外の大規模開発や馴染の店舗街の更地化などの変化に驚かされ、諸行無常に気付かされます。

およそ不変に見える街並みや自然でさえ僅かの間にこれほど変化するのですから、有体ですらない世の価値観や人の思考などは尚更ではないでしょうか。世論あるいは個人々の信念などはそれ自体非常に貴いものですし、何事が成されるに必須かもしれませんが、これらでさえ時間や立場により何ら普遍的でも絶対的でもなくなるように思われます。脱藩や殺人などの重罪を重ねても、のちに幕末の志士として英雄視されうるように、犯罪とされる行為も時代や立場が異なればそれへの評価は正反対にも変転しえます。このように、ある課題につき唯一不変の真理や答えなどは存在しえないのが法学などの社会科学であり、これを志すには、もとより世論、常識や自己の信念なども尊重しつつも、更にこれらをも客観的に、時に懐疑的にさえみうる冷静さや勇気も大切ではなかろうかと、最近改めて感じています。

「働く大人たちから」

いよいよ就活シーズンが到来しました。私自身の就職活動を振り返ると共に、今年就活生として奔走する皆様を少しでも応援できればと思います。

就職活動においては、自分の価値観を見つめ直したり、他の学生から情報収集をすることももちろん大事です。SPIの勉強、OB訪問や面接練習など、すべきことは山程あるのですが、私は何よりも「働く大人たち」からたくさん話を聞



いてほしいと思います。

就職活動で出会う様々な企業の方は、それぞれに失敗や成功を重ねられ、独自のキャリアビジョンや目標を持ちながらお仕事をされています。業界、会社、そして個人によって、ものの見方も千差万別です。ある証券会社の女性人事の方は、「育メンの普及は経済、社会をどう変えるのか」をお話しされました。育メンの普及は女性の社会進出を後押しするだけでなく、育児を経ることで男性の価値観を変化させたり、育メンに対する新たなビジネスチャンスを生み出すことで、経済へも影響を及ぼすのだと仰いました。物事を女性としての視点だけで見るのではなく、経済や社会への影響までもを捉えようとする点に、証券会社というお仕事柄が感じられました。このようなお話を伺うことができるのも、就職活動ならではの経験です。

まだ寒い日が続きますし、何日にも渡って夜行バスで寝る…なんて日もあるかと思いません。就職活動は体力勝負である面も大きいです。体調には十分気を付けて、いつでもきらきらの笑顔で臨んで下さい！

2015年3月法学類卒業

(三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)に就職) 岩田沙織

お知らせ

このほど、大学院法務研究科(法科大学院)と法学類との連携の一環として、法科大学院進学を志望する法学類生のために、**適性試験受験料補助制度**と、**法科大学院進学予定者奨学制度**を新設しました。両制度は、法務研究科が本学卒業生から頂いた寄付を原資とする基金によって運営するものです。

適性試験受験料補助制度は、法科大学院に進学するために必ず受験しなければならない適性試験のうち、金沢会場(本学)で実施される1回分について、受験料16,200円を全額補助するものです。法曹界に興味はあるが、まだ進路を確定していないという学生が、法科大学院進学の可能性を残しておくために適性受験する、という場合も補助の対象となり、金銭的な負担な

法科大学院を志望する法学類生への支援制度新設！

く受験できます。**法科大学院進学予定者奨学制度**は、法科大学院進学を志望する法学類4年生(及び早期卒業予定の3年生)に対して毎月5万円を1年間支援するものです。本学法科大学院に進学した方は、返還が免除されます。

法曹になるためには、司法試験に合格し、司法修習を経るなど幾つかの関門があります。ですが、この関門を超えるために、金沢大学では法曹を目指す学生への経済的支援を行っていきたいと考えています。今まで多くの法曹を輩出してきた実績をふまえ、これからも北陸地方を中心に全国で活躍する法律のエキスパート養成の学府でありたいと思っています。

大学院法務研究科長
佐藤美樹



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、法学類HP (<http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/home/geppo>)に掲載していますのでご覧ください。
また、メールでの定期配信(無料)をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 法・経済学務係 (n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp)までお申し込みください。
- お読みになってのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。